

(別紙4(2))

事業所名 グループホームハピネス

目標達成計画

作成日: 令和 5年 4月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(6)	利用者や家族が意見、要望を、管理者や外部者へ表せる機会や仕組みが十分でない。	利用者や家族が意見等を管理者や外部者へ表せる仕組みを検討する。	家族等の意見、苦情を表せる場所として、運営推進会議や市町村の窓口(契約時に重要事項説明書記載にて説明済み)、相談者など施設以外の外部の場所、機会のあることを定期的に周知していく。	3ヶ月
2	(8)	利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との把握、関係が途切れない支援方法の検討ができていない。	利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所の把握に努め、関係が途切れないための方法を考える。	開所後日が浅いため、利用者の馴染みの人や場所の把握が不十分である。利用者から丁寧に話を聞き、訪ねて来た友人との関係を記録し地道に丁寧に対応する。	6ヶ月
3	(12)	終末期についての施設の対応について、利用者との間に、同意書が交わされていない。	同意書を交わす方向で検討する。	いつから、どのような内容のものを作成し、交換するかを具体的に検討する。法人とも協議。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。